

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年2月21日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4678000177
法人名	特定非営利法人 環境福祉サービス
事業所名	ヴィラ おたつめたつ
所在地	鹿児島県熊毛郡中種子町納官5173番地 (電話) 0997-24-8557
自己評価作成日	令和元年12月19日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pccpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pccpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年2月1日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎朝、基本理念と月間目標を復唱し、入居者様の生活に寄り添った支援を行っている。職員も各自年間目標を掲げ、目標達成に向け、日々努力している。月に一回は苑外活動を行い、ドライブや地域行事の参加などを行っている。天気の良い時には庭に出て、体操をしたりレクリエーションをしたりしている。入居者様一人一人の状態による支援計画にそって、全職員統一した支援を行っている。年一回の家族交流会ではいろいろな嗜好を取り入れ、入居者様、御家族に楽しんでもらえるよう努力している。日々の生活において、安心してすごせてもらえている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、系列の社会福祉法人と研修や人事交流を通して協力関係が築かれている。隣接のデイサービスとは避難訓練も合同で実施、デイサービスの通所者がグループホームの知人を訪ねるなど、利用者間の交流も行われている。
- ・自治会に加入し、地域行事の運動会や夏祭り、小学校の学習発表会等に参加している。地域のボランティアも事業所のイベント時の歌や踊り・年末の大掃除・地域の避難訓練参加等、地域の協力を得ている。事業所も町と福祉避難所の協定を交わし地域貢献に取り組んでおり、相互の協力関係が築かれている。
- ・管理者を中心に、月に1度は苑外活動を計画して車椅子の利用者も含めてドライブや地域行事に出かけており、事業所内に閉じこもらない生活を支援している。
- ・調理専門職員等の配置や系列法人からの異動による職員の確保で、手厚いケアへの取り組みと職員の負担軽減を図るなど、就業環境の整備に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事務所、フロアに掲示している基本理念と月間目標を朝礼時に復唱する事で共有して仕事に繋がっている。	理念を事業所内に掲示すると共に、契約書やパンフレットに掲載している。朝の申し送り時の唱和と、ミーティング時にケアを振り返って、理念を共有し実践に繋がっている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年間計画に地域や近隣小学校の行事を入れて積極的に参加している。	自治会に加入し、運動会や夏祭り・小学校の行事に参加している。小学生やボランティアを受け入れたり、避難訓練時の地域お助け隊の参加や野菜の差し入れ等、地域と相互に交流している。事業所は福祉避難所として地域貢献にも取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	ミーティングや研修等で職員の知識を高め、地域住民や家族に対応出来る様にしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回（年間6回）開催して利用者様の状況や行事報告等を行い、意見交換をして業務の改善に活かしている。	2ヶ月に1回の運営推進会議を開催し、ヒヤリハットを含めた報告と意見交換を実施している。利用者の状況及び事業所の取り組みに関しての活発な意見交換を行い、委員の理解を深めてもらうと共に業務改善の機会になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進委員会や入居判定委員会に参加してもらったり、行政や地域包括支援センターの主催する研修に参加したりして助言・指導をしてもらっている。	町の担当者とは、運営推進会議時の意見交換や電話及び出向いての相談・報告で、連携を図っている。町の研修会に参加し、行政及び参加者との情報交換に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の研修をミーティング等で行ったり、自傷行為などで身体拘束が必要な利用者様にはサービス計画に入れて家族の同意をもらい、計画変更時見直しを行っている。	指針が有り、委員会と勉強会を3ヶ月に1回実施し、系列法人の研修会も年1回行っている。現在夜間のみ、頻回な転倒がある利用者にベッドの4点柵、皮膚のかきむしりのある利用者のミトン使用を、家族の了解や検討会・記録等を整備の上実施している。	ベッドの4点柵及びミトン使用については、身体拘束適正化委員会に諮りながら早期に改善が図られるよう望まれる。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	系列の事業所と一緒に代表委員が勉強会を行い、各事業所のミーティング等で研修を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	系列の事業所と一緒に代表委員が勉強会を行い、各事業所のミーティング等で研修を行っている。全職員にアンケートをとって支援に活用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時に契約書・重要事項説明書の読み合わせをしながら確認してもらっている。計画変更時にも納得してもらえるまで説明している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者様の思いや意見は日頃の会話等で理解して、家族の意見や要望は来苑時や家族交流会の中で聞き、ミーティングで話し合い、支援に反映している。</p>	<p>利用者には日常の会話の中で、家族には、家族交流会や面会時に要望等を聞いている。「寒いので靴下を履いたまま就寝したい」との要望が本人や家族から出された際は、浮腫があるため望ましくないことを伝え、暖房を2時間前に入れ、寝具を厚く加湿器も使用する事で解決した事例がある。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティング・個別面談等で意見を把握して管理者が主任会・理事会で報告・提案して運営に反映している。勤務表作成時、外部研修への参加にも出来る限り希望を聞いている。</p>	<p>ミーティングや年1回の個人面談で、職員の意見を聞く機会を設けている。提案をケアの統一に反映させたり、勤務表作成時に要望等を考慮している。個別相談は、管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年度末の自己評価や主任会等で把握して有給休暇や時間外手当・昇給制度の改善に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	主任会・理事会・年度末の自己評価表等で職員を把握して研修も希望すれば積極的に受講できるようにしている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	系列の事業所等と交流会や勉強会を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人や家族にこれまでの生活歴・健康状態・要望等を聞いて計画に反映することができるようにしている。事前に見学に来ていただいたり、契約時にゆっくり話を聞いている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所判定委員会にて病院・ケアマネの意見や、入居前に本人・家族に面接時、ゆっくり聞き取り、細かい事も話し合っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の状態、ADL、IADL、生活環境等を聞き取り、状況を把握した上でケアプランを作成し、状態に合わせて他施設利用も含めた対応をしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の残存機能を見極め、自立支援を行う事で、自分で出来る事を増やして行ける様になっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人の状態や状況は常時ヴィラ通信や面会時家族に連絡・報告している。盆・正月には帰省や面会に来ていただいたり、居室に泊まることも出来るようになっていく。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの関係が途切れないように電話や訪問時交流できるようにしている。家族の宿泊も受け入れ、外食や一時帰宅・墓参りや法事に帰ったりと関係の継続に努めている。	家族や知人の面会が有り、居室でお茶を飲みながら歓談してもらったり、電話取り次ぎや家族と墓参り・法事・外食等に出かける等、関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体操やレクリエーションに全員が参加できるプログラムを毎月作成し行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	亡くなったり、他施設への移動のため退所となった方も家族の相談には応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居時に意向を把握して余暇時間に趣味や得意な作業をもらっている。	日常の会話や入浴介助時等のゆっくりした時間に本人の思いを聞いている。意思疎通が難しい場合は、家族の情報や本人の表情・行動等から推測している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族、関係機関の方に話を聞き、生活歴や今までのサービス利用時の事など把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日、気配り・目配り・心配りで様子観察し、また、正確な引継ぎを行い支援の統一を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族とは日頃の話から意向は把握している。支援経過やモニタリングを参考にしてケアプランを作成している。また、主治医に受診時に更新時意見書をもらいプランに取り入れている。	家族の参加を得て担当者会議を実施し、本人・家族・職員で検討し、ケアカンファレンスでの職員の意見を加えて介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月に1回実施し、6ヶ月毎及び状況変化時に介護計画を見直している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日誌・介護記録・連絡帳の記録で状況・体調の変化を把握してミーティング・朝礼・LINEで共有して支援に繋げている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>病院の受診や家族の宿泊など可能な限り柔軟なサービスの提供を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ボランティア団体に来て頂いたり、行政や民生委員・消防・警察・地域お助け隊の方々に協力してもらっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者の既往歴等を把握して緊急時・定期受診時は職員で対応している。受診時には日々のバイタル表等に対応している。受診後は家族に報告し介護記録や申し送り・LINE等で共有している。</p>	<p>契約時に希望するかかりつけ医を確認して、定期受診及び緊急時は職員が同行支援し、家族に結果等を連絡している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日介護記録や業務日誌等に気付いた事を記載し、受診時に医師・看護師に相談し、適切な受診・服薬が出来るようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した際にはその都度情報提供書を医療機関に提出している。面会時や電話でも情報交換や相談をしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時に「重度化ケア対応方針」の説明を行い、同意書をもって確認している。現在看取りは行っていないが、経口摂取が可能な限り支援している。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について説明し、同意書ももらっている。状況変化時に医師から家族への説明があり、その後家族の意向を確認している。家族の意向に沿って支援に取り組んでおり、経口摂取が可能な限りは事業所でケアしており、看取りは実施していない。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時の対応は研修や訓練にて周知している。(AED・防犯ブザー付き携帯使用)</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回以上の避難訓練（夜間訓練含む）の際には地域消防団・警察・近隣住民（障害者施設）・地域お助け隊に参加してもらい協力体制を築いている。町の避難指定施設として依頼を受けている。</p>	<p>年2回の避難訓練を1回は夜間で実施し、消防署・消防団・地域お助け隊・隣接デイサービス・ケアホームの参加がある。その他、自主訓練の避難誘導及び消火訓練を年7回実施し、講師として消防署の協力もある。町と福祉避難所の協定を交わしている。備蓄は、3日分の水・お茶・御飯・レトルト食品等を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人権擁護に関するアンケートの実施や人権擁護委員会での意見交換、職員の自己評価等で意識を高めている。	研修を実施している。さん付けでの呼びかけ、更衣・排泄・入浴介助時はカーテンや戸を閉めて行う等、誇りやプライバシーを損ねないように努めており、申し送り時は利用者に聞こえないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常会話の中で思いや希望を聞きだすような時間を作っている。ミーティング等でチーム支援が出来るように計画を立てている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	午前中は体操やレクリエーションを体調に合わせて一緒に出来るようにしているが、午後からは希望に沿った個別支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	季節に合わせた衣類の調整や足りないものや欲しいものは家族にも協力してもらっている。散髪も随時美容院の方に来てもらっている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節を考慮した献立を立て、菜園で作ったり地域で取ってきた野菜を取り入れ、個別の食事形態に合わせて提供している。食後にお盆を拭いてもらったりしている。	職員が旬の野菜等を使って調理している。ミキサー食を含め個々に応じた食事形態で提供している。下ごしらえやトレイ拭きを利用者も一緒にしている。誕生日のケーキや季節の行事食等、食べる楽しみも工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	介護記録に記載し、状態に合わせて個別に食事形態を決めている。医師と相談し、病状に合わせて水分補給やエンシュア等の栄養補助食品も提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は必ず口腔ケアを行い口腔内の清潔を保っている。舌苔も白くならないように舌ブラシを使用して綺麗にしている。義歯は毎晩消毒している。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定時にトイレ誘導を行い、出来るだけ失敗の無いよう支援している。排泄チェック表にて排泄パターンも確認している。	排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握している。居室でオムツ交換をする利用者もあるが、日中はトイレでの排泄を基本に見守り支援をしている。必要に応じて夜間のみ、パット交換やオムツの利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事・運動・水分摂取によって自然排便を促している。医師とも相談し状態に合わせて服薬調整している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調を見ながら隔日に入浴してもらっている。浴槽にも浸かってもらっている。自力にて入浴できない方は2人介助にて安全安心な入浴をしてもらっている。	隔日の入浴を午後の時間帯で実施している。シャワー浴の希望者以外は浴槽に浸かって、話をしながらゆっくり楽しんでもらっている。安全に配慮して2人介助も実施している。拒む場合は、無理強いせずタイミングを見て入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様がゆっくり出来るような環境づくりに努めている。夜間も良眠出来るよう支援し、医師とも連携し服薬調整を行っている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬変更時や頓服薬の目的に関してはミーティング・連絡帳・LINE等で周知している。医師と連携し、服薬調整も出来ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>毎日の生活の中に生きがいを感じてもらえるようなことを取り入れて利用者様が生活に喜びを感じれるように支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の善い日には庭に出て体操やレクリエーションを行っている。家族の協力の元墓参りや一時帰宅も出来ている。月1回苑外活動を行っており、体調が良ければ全員出掛けている。</p>	<p>天候の良い日は庭で日光浴や体操をしている。月1回の外出支援に取り組んでおり、初詣や季節の花見等のドライブにリフト車で出かけている。家族とドライブや墓参り・法事等で出かける利用者も有り、できるだけ出かけられるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>管理が困難な方が多いため事務所にて管理している。本人の希望・要望によって買い物代行したりしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族の希望で制限されている方もおられるが、曜日を決めて希望がある時に電話している。手紙や荷物が届いた際には相手に電話し途中から変わって話をしてもらっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	庭やテラスからは海が眺められ、またタイミングがよければロケット打ち上げも見られる。壁には行事の写真を掲示しており、利用者様も楽しんでいる。季節に合わせた壁紙も掲示している。	食堂とリビングが有り、仏壇・神棚が設けられ、壁は作品や行事の写真・季節の壁画で飾っている。海が見えるテラスでは開放感と季節を感じられ、夏にはリビングの高窓からの日光を調節し、過ごしやすい室内環境になるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂の自席やソファーにて寛がれている。人によっては居室にて余暇を過ごされる方もおられる。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には昔から馴染み親しんだものや写真等を自宅より持ってきてもらい、自宅に居るような居心地の良い環境づくりに努めている。	居室は畳とフローリングのスペースが有り、避難路として利用できる掃き出し窓となっている。ベッドとエアコンがあり、本人が洋服掛けや衣装ケース・椅子・加湿器・掛け時計・写真等を持ち込んで、安心して過ごせる部屋作りをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	毎日各自の目標を定めて歩行訓練を行なっている。居室やトイレなどには分かりやすいように表札や目印を表示している。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない